

■防災探検まち歩きマップ！

第2回目のワークショップで実施した「防災探検まち歩き」で見たこと、感じたことを、研究室ごとにマップにまとめました。作成したマップは、松林中学校内で掲示し、他の生徒の皆さんが知っている情報も書き込んで、さらに内容の充実を図っていく予定です。

防災対策室



地域計画室



まちづくり推進室



地域福祉室



■ワークショップの今後の予定

まだ参加されていない方のご参加も、お待ちしております！

回数	日付	時間	概要
第1回 (終了)	平成27年 11月21日	9:30~12:00 (150分)	地域の状況等の説明／加藤先生からの講演／体験学習
第2回 (終了)	平成27年 12月20日	9:30~12:00 (150分)	松林地区の防災もまちづくり活動の現状と今後 防災探検まち歩き
防災フェア (終了)	平成28年 1月17日	13:00~16:30	2016防災フェア ～見て！聞いて！話そう！ 知っていますか？私たちの地域防災～
第3回 (終了)	平成28年 2月20日	9:30~12:00 (150分)	地域のできるまちづくり活動について、検討しよう！
第4回 (予定)	平成28年 3月13日	9:30~12:00 (150分)	アクションプログラムをつくってみよう！ 防災まちづくりワークショップのまとめ

自助（個人）・共助（地域）の視点から防災まちづくりについて考えてみませんか？

松林地区「防災都市づくりワークショップ」ニュース Vol.3



研究室でアクションプログラムを作成！

茅ヶ崎市では、東京大学生産技術研究所の加藤孝明准教授のご協力のもと、平成21年度から「防災都市づくりワークショップ」を実施し、地域のみなさんと一緒に災害に強い都市づくりを進めております。

今年度は、松林中学校の生徒の皆さんをはじめ、松林地区の皆さんと一緒に「東京大学加藤研究室附属 松林地区防災もまち

づくり研究所」を設立（5つの研究室に分かれて活動）し、全4回のワークショップを実施しています。

平成28年2月20日（土）に開催された第3回目のワークショップでは、研究室ごとにグループワークを行い、「防災探検まち歩きマップ」と「防災“も”まちづくりアクションプログラム、イチオシ！企画」を作成しました。

～第3回 松林地区「防災都市づくりワークショップ」で行ったこと～

＜はじめに＞

第2回目のおさらい
防災フェアに参加した感想

＜グループワーク②＞

「防災“も”まちづくり取組のアイデア」を考える！

＜グループワーク①＞

「松林地区 防災探検まち歩きマップ」をつくろう！

＜発表＞

研究室で作成したマップ、イチオシ企画！

＜閉会＞

加藤先生からのお話
次回予告

■2016 防災フェアに参加して

他地区の会合や交流会などで、松林中学校の皆さんによる発表を聞いた様々な方からお褒めのお言葉をいただいています。

中学生の「鋭い眼」で、我々大人では何か物足りなく感じることも鋭くキャッチしており、新鮮に感じたという意見を多くいただいています。

今後も、地域の中に中学生の「鋭い眼」を取り込んでいくことによって、防災の取組もさらに効果が上がっていくのではないかと感じています。



松林地区
自治会連合会
細田会長



- 作業の進め方

STEP 1) これまでのワークショップで学んできたことなどを踏まえ「すぐやる」取り組みと、時間をかけて「じっくりやる」取り組みのアイデアを出し合い、「どのように」「誰が（役割分担）」取り組んでいくか議論

STEP 2) 各研究室からの「イチオシ企画！」（※）を発表
※出し合ったアイデアの中から、優先的に取り組んでいきたいものを各研究室から全体へ提案！

次回実施！

STEP 3) 「イチオシ企画！」を実際に取り組んでいこうとした時に何をすれば良いのか検討する。
その他の取り組みアイデアについても話し合い、具体的なアクションプログラムとしてまとめていく。

～加藤先生のコメント～

重要なキーワードとして、①「自分たちでやるべきだと思うからやるんだ、自分たちがやりたいからやるんだ」という『内発性』、②「雪だるまが転がって膨らんでいくように、やりながら内容もどんどんふくらんでいく」という自律発展性、そして、③「それぞれの考えに、他の班の意見も参考にして横で繋いでいく」という『総合性』がある。

今日は、この3つの姿勢で取り組むことができていた。次回も同じ姿勢で議論ができると、もっともっと良いものができると思う。

